

高西地区  
から こんにちは  
今月の 気になる人

毎日楽しく暮らすのが一番！

しまおか あきお  
嶋岡 明雄さん (67)

興津地区より



千葉県から興津の実家へ帰って来て11年目になる嶋岡さん。30年振りに帰って来た当時は周りが知らない人ばかりに感じ、「まるで浦島太郎になったようだ」と思ったそうです。しかし、持ち前の明るい性格で地域に馴染むのは早く、郷分地区の総代をしながら学校での本の読み聞かせやしめ縄作りのお手伝い、そして後継者が無くなりかけていた地元での新聞配達を引き受けるなど、今では興津地区にとって無くてはならない存在になっています。

そんな嶋岡さんは、元警察官。興津は都会と違って不便な所もありますが、ストレスの多かった以前の仕事から、きれいな海や山、おいしい空気に心も体も開放されたようです。「毎日楽しく暮らすのが一番！」と笑顔で話す嶋岡さんが、眩しく感じられました。



東津野地域を守ります！

東津野駐在所 巡査長  
おかだ 洋平さん (34)

東津野地区より



東津野駐在所の岡田洋平さんは、昨年4月からこの地域の駐在として活躍しており、日々の巡視やパトロールを通じて地域の安全を支えています。特にこの地域は冬場になると道路の凍結が多く、県外客などによる交通事故が多発するため注意が必要となります。岡田さんは、パトロールを通じて危険箇所をいち早く把握し、町と連携して融雪剤をまくなど早朝の改善に努めたいそうです。

岡田さんに2022年の抱負を伺うと「まだこの地域に来て1年足らず、早く住民の方々に顔を覚えてもらい、地域に寄り添った駐在として活躍したい」と熱い思いを語ってくれました。東津野地域の皆さんが頼りにしています。寒い季節が続きますがお身体に気を付けて頑張ってください。

大野見地区より

元気いっぱい『おおのみ きた』  
キクラゲ栽培のみなさん

集落活動センター おおのみ きた では、大野見北地区を「楽しく 仲良く 助け合う郷」と掲げ、たくさんの活動をしています。中でも、イタドリやキクラゲ栽培は、耕作放棄地の活用や収入源の対策として勉強や研究を重ね、現在も少しずつ進行中です。

他にも、一年を通して、様々な行事に取り組みながら、地域全体で支え合いイキイキとした暮らしができる「魅力のある郷」を築いていっています。これからも、北地区の皆さんから、元気の輪がどんどん広がりますように♪



# できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！

## 5 四万十地域 JA高知県肉牛枝肉共励会 最優秀賞受賞



表彰を受けた堅田雅仁さんとご家族

11月中旬、高知県広域食肉センターにおいて、JA高知県肉牛枝肉共励会が開催されました。この共励会は、肉用牛の肥育技術の確立と枝肉の肉質向上に資するために行われており、今回で3回目となります。共励会には県下より23頭の出品があり、当管内からは3頭の出品がありました。日本食肉格付協会の規格に基づいた厳正な審査の結果、最優秀賞に堅田雅仁さんの黒毛和牛、優秀賞に有限会社鈴木さんの黒毛和牛が受賞しました。これからも、高品質でおいしい土佐和牛の生産を期待しています。おめでとうございます！

## 3 四万十地域 「JA高知県四万十厳選にこまる」米コンテストで金賞受賞



エコ栽培米生産部会員の笹岡孝志さん

昨年12月に開催された、国内有数の米コンテストである「第18回 お米日本1コンテストinしずおか」において、JA高知県エコ栽培米生産部会から出展した、「にこまる2点のうち1点が、ベスト12位に入る『金賞』を獲得しました。全国から約500点の出展があった中で、平成17年からの「日本一おいしいお米を作ろう」という部会スローガンのもと、JA高知県四万十厳選米の基準に則って積極的に取り組んだ結果が評価され、部会員の士気も一層高まりました。

## 6 津野山地域 各生産部会 反省会を開催！



令和3年度の反省会を行いました

津野山地区の各生産部会（ミヨウガ、甘とう、ナス、ユズ等）は、反省会を開催し、令和3年度の実績を振り返りました。コロナの影響や極端な気象の変化により、生産面・販売面ともに厳しい状況が続く、生産農家も踏ん張りどころとなっている状況の中、各品目それぞれに来期に向けた栽培技術の周知、販売促進の取組計画等を検討しました。津野山地域は過酷な厳寒期を迎え、年明けから土壌消毒や土壌分析、ハウス張替えなど春までに必要な準備を行っています。令和4年は生産面、販売面ともに令和3年より良くなることを願い、厳しい寒さに負けぬよう取り組んでいきます。

## 4 津野山地域 スイートポテトづくりに挑戦



おいしくな～れ！

12月7日、梶原町立梶原学園の小学2年生らは食農教育授業の一環として恒例の「スイートポテトづくり」に挑戦しました。今年も地域の女性部の方々のサポートを頂きながら、調理を行いました。子供たちは6月に植え、11月に収穫した「自分たちで育てたサツマイモ」を使ったスイートポテトを味わい、楽しさや、嬉しさ、難しさ、また食材への感謝など、様々な思いを感じることができたと思います。学校だけに限らず家でもいろんなことにチャレンジしてみてください。



(農) 四国デュロックファーム佐竹宣昭社長

## 1 四万十地域 高知県豚枝肉共進会 「グランドチャンピオン」受賞

10月下旬、四万十市営食肉センターにおいて、高知県豚枝肉共進会が開催されました。この共進会は、肉豚の肥育技術の確立と枝肉の肉質向上に資するために開催されており、今回の開催で20回目となります。共進会には県下より120頭の豚枝肉の出品があり、日本食肉格付協会の規格に準じて厳正な審査が行われました。本年は、品質の高い枝肉が多く優秀付けがたい状況でしたが審査を勝ち抜き最優秀賞 去勢の部に(農) 四国デュロックファーム 第3農場、優秀二席 去勢の部の部に(農) 平野協同畜産第3農場が受賞しました。また、最優秀賞に輝いた(農) 四国デュロックファーム第3農場については、「グランドチャンピオン」も受賞しました！



産業祭の様子

## 2 津野山地域 産業祭に茶そば出店

11月28日、津野町産業祭が開催され津野山営農経済センターからは茶そばとお茶の販売を行いました。コロナの影響により当地区での産業祭は2年ぶり、今年は津野町の葉山地区（かわうそ公園）での開催となりました。コロナ対策にも気を配りながら普段から縮小した規模での開催となりましたが、野菜品評会場には約230点の出展がありました。各販売ブースも久しぶりのお祭りで活気が溢れていました。天候にも恵まれ昼時には多くのお客さんで会場が賑わいました。JAから出店した茶そばについても用意していた100食分が昼過ぎ頃には売り切れとなりました。JAでは年末に向け「年越し茶そば」の予約販売も行いました。また、もっとたくさんの方々にご賞味いただきたいと思い、高知市の「とさのさと」や四万十町の「みどり市」でも販売させていただきました。とても好評をいただきました。とても800食が早期に完売となりました。

四万十地域より

# シントウ栽培者募集



●シントウ研究会より

JA高知県四万十管内では、平成19年にシントウ栽培の高位平準化を目指し、シントウ研究会として活動がスタートしました。シントウは収穫重量が軽く女性や高齢者の方でも取組みやすく、また栽培面積が少なくても所得の上がる品目です。ぜひ皆さんもシントウ栽培に挑戦してみませんか？

【シントウ栽培暦】

●:圃場準備 ▲:定植 ■:収穫期間

3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
●	●	▲	■					■

【1a/60本当たりの生産収支】 ～露地～

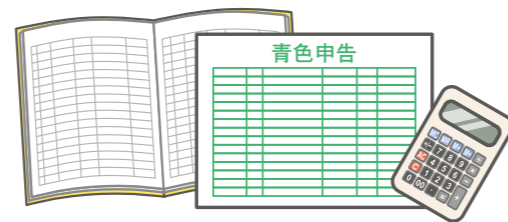
収入		費用 (初年度)	
出荷数量 (パック)	2,500	苗代 (60本)	14,900
平均単価 (円/パック)	148	肥料代	19,000
精算金額 (円)	370,000	農薬代・資材代	190,000
		合計	223,900

※昨年の数値を参照しています。

初年度は、灌水設備やパック溶着器などが必要ですが、2年目以降は費用が半分以下まで抑えられます。  
栽培管理・天候によって収入や農薬代・肥料代などの費用は変化するので、あくまで目安となっております。

～栽培について興味がある方は、  
JA高知県 四万十営農経済センター 営農指導課 (0880-22-5179)  
辻本 までご連絡をお願い致します～

# 「青色申告」に 取り組みませんか



「青色申告」は、日々の取引を記帳し帳簿に基づいて正しい申告をすることで、税金の面で様々な特典を受けることができる大変おすすめの制度です。また、新しく導入された収入保険制度においても、青色申告を行っている事が加入条件とされています。今年から青色申告を開始される方は、令和4年3月15日までに税務署への申請書提出が必要となります。詳しい内容につきましては下記までお問い合わせください。

◎問い合わせ先：JA高知県 四万十営農経済センター 営農指導課  
担当 山脇・小野 (TEL 0880-22-5179)

# えい|の|う|～



津野山地域より

# 「地域のこと、集落のこと」 みんなで考えてみませんか？

これまでに「集落営農」という言葉を、身近で聞いたことはありませんか？  
もしかすると、あまり聞きなじみがない方もいるかもしれません。そこで、「集落営農」について、簡単にご紹介させていただきます。

●集落営農とは？

「集落営農」とは、個々ではなかなか解決できない、地域や集落で困っていること<例えば、**農業者の高齢化・後継者不在による労働力不足・耕作放棄地の増加・農業機械の問題など**>を集落のみんな(農家だけでなく、地元の人々)で話しあい、協力し合う仕組みのことを言います。

●集落営農組織について

「集落営農」に取り組むにあたり、「集落営農組織」を設立し活動します。  
いろいろな課題解決のために、様々なタイプの「集落営農組織」があります。



集落で困っていること<課題>	集落営農組織のタイプ
・(水稲に関係する) 農業機械費が高い	農業機械の共同利用
・農業機械を修繕するコストを抑えたい	(水稲など) 農作業の受託
・自分の田んぼを使って(水稲など)栽培する後継者がいない、農地を荒らしたくない	農産加工、交流活動
・地元や集落を活性化させたい	

上記の課題をいくつか組み合わせる形態で活動する「集落営農組織」も、たくさん高知県内にあります。また、法人化(会社化)した組織も増えています。

以下の4点の条件を満たせば、少人数から、どなたでも「集落営農組織」を設立させることができます。

- ①組織の規約・定款がある
- ②年1回以上の総会の開催がある
- ③事業計画書(又は営農計画書)を作成している
- ④収支(又は会計)の計画及び報告がある



●終わりに

今、どの地域・集落においても、農地を荒らさないために、多くの方が日々頑張っています。口には出さずとも、一人一人が漠然と「このままでは、いかん」と危機感を持っているように感じます。自分たちの地域・集落を、どう守っていけるのか。今からでも遅くはないです。話し合いを始めてみませんか？

高知県須崎農業振興センターとJA津野山営農経済センターは、梶原町や津野町と協力して、地域・集落の皆様からの声をもとに、地域・集落の困っていることを解決するサポートを行います。お気軽にご相談ください。

須崎農業振興センター(担当:横山・隅田・小澤) TEL:0889-42-3255  
JA高知県高西地区津野山営農経済センター TEL:0889-62-2335

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

# みんなのひろば

## 俳句

霧の里句会

北風に身を引き締めてスタートに  
手袋を投げて試合の最終に

武政 礼子

風寒く拡ぐ青空鳶の笛  
背戸山の竹林きしむ音寒し

市川 和美

年の瀬や親しきものに朝寝坊  
夕陽得て目立ちそめたる木守柚

今橋 孝子

マスクして挨拶をされハテナかな  
小春日や鴉の群れの空おほふ

田中 信子

嬉しやな詩吟大会帰り花  
朝早くお歳暮持つて師の宅へ

竹内 春猪

荷台より牛の鳴声冬日和  
雲厚く降りそで降らぬ枯野原

西宮 正衛

落葉ふみ山路へ延ばす万歩計  
幸福の定義それぞれ冬すみれ

長谷部 延子

## 短歌

窪川短歌教室

雨上がりを待ちてシルバーカーに行く投票所への道のり遠し

島岡 紀美

まだあったアベノマスクが配られず保管費などが百二十一億

中内 佐登美

糸を染めレースやししゅうあしらひて母が作りしわがための服

黒岩 やよえ

若き日々ちやちやつとすませし家事仕事がいまの暮らしの大き大切

市川 隆子

五時になり夫を呼び観る大相撲時には引き分けあればと思う

北村 さちこ

病院のエレベーター四基そのどれがわたしの運命はこぶだろうか

市川 浩子

換毛期に猫にブラシをかけおれば「さいこうです」と目を細めたり

文野 見枝子

## 【各支所連絡先】

四万十支所

0880-22-0003

梶原支所

0889-65-0111

興津支所

0880-25-0002

東津野支所

0889-62-2211

大野見支所

0889-57-2321

葬祭会館 ルミエール四万十

0880-22-5900

(株)JAメモリアルこうち 津野山出張所

0889-40-1955

事故受付など 高西サービスセンター

0889-40-4141

## ◆◆おたよりから◆◆

若い人達の頑張る姿と笑顔を見るとこちらまで元気になります。若い人達が安心して暮らせる農業であってほしいですね。

(四万十町・74歳・女性)

いろいろな生産者さんを見られるのも楽しみです。地域のこだわりレシピも勉強になります！

(梶原町・46歳・女性)

## 俳句

寒椿主しに見せたい雪化粧

(梶原町・松山 松美)

お日さまのあたるかたちに霜がとけ

(梶原町・中越 緑)

春寒し残り餅焼き暖を取る

(津野町・弘瀬 秀頼)